

# 合同

No. 467

## 「聖書的世界観・価値観の発信を」



日本キリスト合同教会教師  
品川謙一

「信仰によって、わたしたちは、この世界が神の言葉によって創造され、従って見えるものは、目に見えているものからできたのではないことが分かるのです」（ヘブライ人への手紙11章3節）。

昨年、生成系のAIサービスが話題になりました。例えば、Stable DiffusionというAIサービスは、どんな絵を描いてほしいかを説明する言葉（プロンプト）を入力すると、それに応じた絵を学習した膨大な画像データを元に生成します。プロンプトをうまく設定すると驚くほど巧みな絵を生成してくれます。特に有名な画風の絵はかなり精巧に模倣することができます。

このようなサービスが普及し、画風を真似る精度が高くなってくると、絵を描く仕事、特に広告用の画像やイラスト制作などはAIに取って代わられる可能性があります。実際にアーティストたちはStable Diffusionの学習データに自分の作品を含めないようにする権利を主張し、先日そのようなオプションが設けられました。

Stable Diffusionを使うのに必要なのは、絵を描くスキルではなく、呪文のようにプロンプトを組み合わせてAIに絵を描かせるスキルです。それはある意味では、冒頭の聖句で目に見えない言葉で目に見える世界を創造した神のようなやり方です。このようなテクノロジーが飛躍的に進展していくと、人間は神のようになると予想する人たちもいます。

しかし実際にAIがやっていることは、人間の判断や技術の模倣で、膨大な学習データを学習させることで模倣の精度を上げているということです。例えば、採用プロセスを自動化するAIでは、女性やマイノリティに不利な判断をする傾向があることがわかっていますが、これは学習データにした過去の採用事例に社会的バイアスがかかっているため、AIの普及によって、そのような社会的偏見や差別

がより広く影響を及ぼすようになることが懸念されています。

このようにテクノロジーの進展によってもたらされる新しい社会状況の最先端で、大きな課題になっているのは、人間らしさや社会的正義など哲学的・倫理的な判断基準を、どのように新しいテクノロジーや社会インフラに設定していくかということです。メタバースと呼ばれる仮想現実世界での、経済活動や人との付き合い方はまだ始まったばかりで、これから様々な法律や価値基準が作られていく時代に入ります。

このような時代には過去のどの時代にも増して、聖書的世界観・価値観をもって生きる人が必要とされています。その世界観・価値観を新しいテクノロジーと社会状況に適用して、これからの世界の秩序を形成していく人々が必要なのです。それは冒頭で紹介した生成系AIサービスのような模倣の話ではなく、無から有を生じさせ、目に見えない言葉で目に見える世界すべてを創造された、主なる神のグランドデザインが必要とされているということです。このグランドデザインは、世界の根底にある神の愛に根ざした世界の秩序（神の国）であり、聖書を通してその秩序を知るわたしたちクリスチャンが果たすべき役割は大きいと思うのです。アブラムが世界中の人々の「祝福の源」となるよう召されたように、わたしたちは単にキリスト教や教会というジャンルにとどまるのではなく、科学技術やビジネスの世界で大いに聖書的世界観・価値観を発信していくべきでしょう。

先日、来日したマイケル・オー師（国際ローザンヌ宣教運動総裁）とこのような内容をディスカッションしましたが、2024年に韓国ソウルで開催予定の第4回ローザンヌ世界宣教会議に向けて、AIを利用して世界中のキリスト者をヴァーチャルにつなぎ、新しい宣教の発想と人的・経済的リソースを組み合わせるプラットフォームを作る計画があるそうです。それは一例ですが、様々な方法で2050年に照準を合わせた宣教ムーブメントの立ち上げが始まっています。

それぞれの置かれた場所で神の愛を人々に現し関わっていきましょう。そして未来が神様のグランドデザインに基づくものとなっていくよう祈り、行動していきたいと思えます。